

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年03月30日

計画の名称	堺東駅周辺地域の活性化(その2)											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	堺市											
計画の目標	政令指定都市・堺の玄関口である堺東駅周辺地域において、新たな都市魅力の創出や楽しく回遊できる市街地空間の形成を図り、人が集い、交流し、にぎわい・憩い、育みなどの活力あふれるまちづくりを推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,994	A	6,994	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H24		H32末
1	・都市機能の集積・交流空間の形成と、歩行者が快適に歩ける空間の整備により、歩行者通行量の増加を図る。 堺東駅周辺2地点の歩行者通行量の平均(休日8時間)	1485人/日	人/日	2200人/日
2	・イベントの開催など市民交流広場の積極的な活用により、堺東駅周辺地域への来訪者の増加をめざす。 市民交流広場の年間使用率	28%	%	44%
3	・市街地再開発事業により、都心居住の推進を図り、居住人口の増加をめざす。 堺東駅周辺地域に含まれる丁目(堺市堺区 翁橋町2丁、北瓦町1~2丁、北花田口町1~3丁、新町、中瓦町1~2丁、三国ヶ丘御幸通、南花田口町1~2丁、一条通、南瓦町)の居住人口	3229人	人	4000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
指標2項目目の現況値は市役所前市民広場における値。												

A 基幹事業

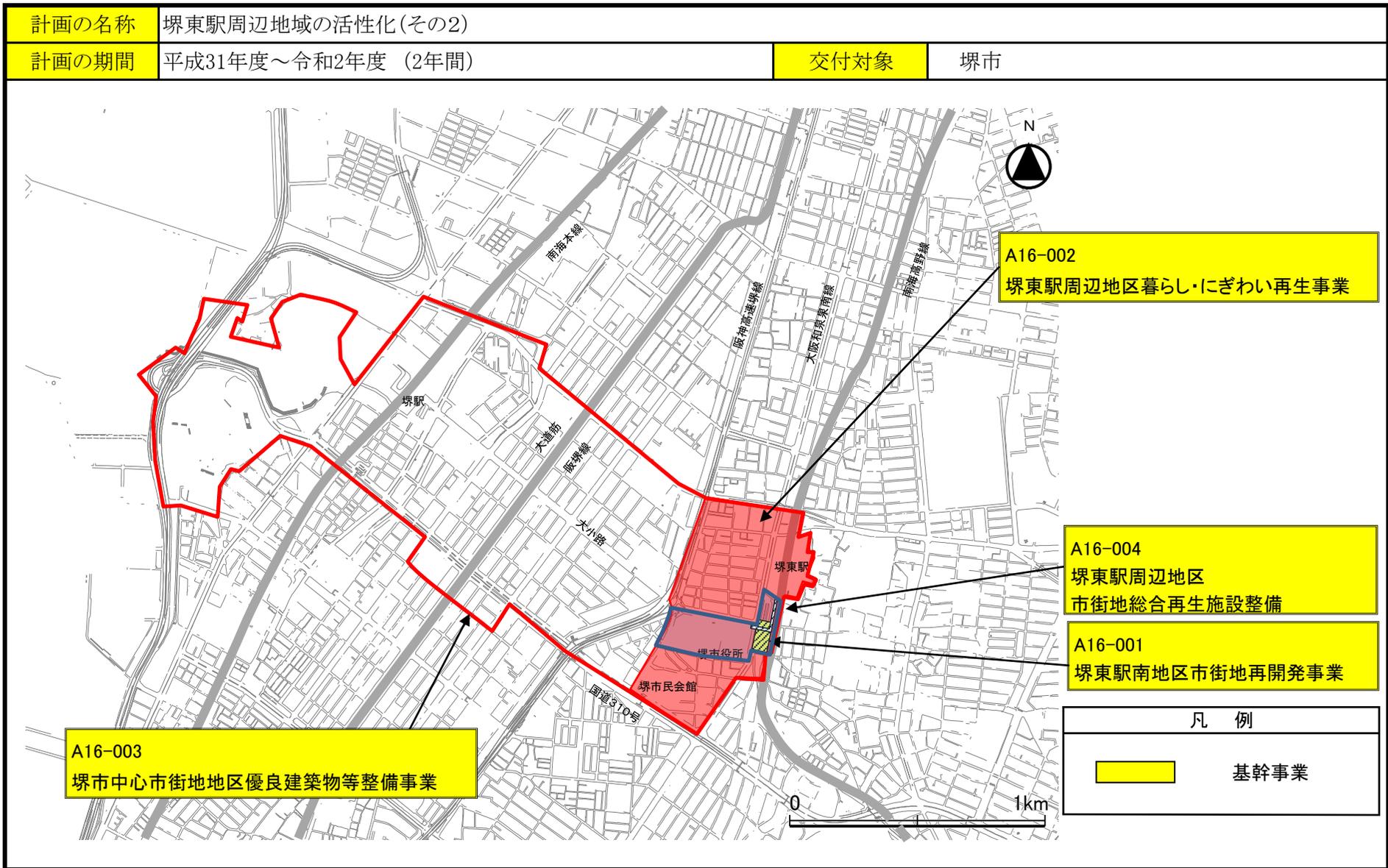
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	堺市	間接	再開発会社	-	-	堺東駅南地区市街地再開 発事業	商業、住宅、駐車場等 A=約 0.7ha	堺市						4,973	1.34	-	
	A16-002	住宅	一般	堺市	間接	民間	-	-	堺東駅周辺地区暮らし・ にぎわい再生事業	地域交流施設等 A=約34.0ha	堺市						93		-	
	A16-003	住宅	一般	堺市	間接	民間	-	-	堺市中心市街地地区優良 建築物等整備事業	住宅等 約190ha	堺市						150		-	
	A16-004	住宅	一般	堺市	直接	堺市	-	-	堺東駅周辺地区市街地総 合再生施設整備	歩行者デッキの新設等 A=約 6.3ha	堺市						1,778	1.34	-	
											小計							6,994		
											合計							6,994		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	650	1,017			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	650	1,017			
前年度からの繰越額 (d)	0	650			
支払済額 (e)	0	1,667			
翌年度繰越額 (f)	650	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺東駅周辺地域の活性化(その2)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 堺市総合計画の方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 関連する各種計画との整合性が確保されている。(都市計画マスタープラン、堺 都心のまちづくりプラン等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 2) 事業実施について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 事業推進に向けた地元の機運が醸成されている。	○